

兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要 投稿要綱

この投稿規定は、兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要規程第9条の規定に基づいて、紀要への投稿に関して必要な事項を定めるものとする。

1. 主旨

兵庫県立大学看護学部及び地域ケア開発研究所は、研究成果を発表するため紀要を発行する。

2. 発行

紀要は、年1回定期的に発行する。ただし、特別に必要があると学術情報委員会が認めたときは、臨時にこれを発行することができる。

3. 投稿原稿の範囲

原稿の種別と基準は下記のとおりである。

【研究論文】：テーマが明確で独創性に富み、新しい知見とその意義が論理的に示されている。

【研究報告】：研究結果の意義が明らかで報告する価値があるもの、研究上の問題提起、興味深い現象や事例などに関するもの。

【総説】：特定の主題に関して、文献レビュー等に基づいて研究の状況を幅広く概説し、考察したもの。

【その他】：学術の発展において、何らかの示唆をもたらすもの。

4. 著者の資格

著者の資格は、International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) の規定に基づき、以下の4つの条件全てを満たす者を著者とする。

- a. 研究のコンセプトや研究のデザインに実質的に貢献した者、または、研究において、データの収集・分析・解釈に実質的に貢献した者
- b. 論文原稿（草稿）の執筆をした者、または、専門知識に基づいて論文原稿の重要な修正に関与した者
- c. 出版される最終原稿に対して承諾した者
- d. いかなる部分においても、研究の正確さや内容に疑義が生じた際、適切に調査に応じ、問題の解決を図ることを保証するため、全ての研究内容について責任を持つことに同意している者

上記a からd までの条件全てを満たしていない者は、著者に加えることはできない。研究資金を調達した者（あるいは研究資金の提供先）、一般的なアドバイスをしてくれた者、研究環境を用意してくれた者、執筆の補助や翻訳の補助、文章の校正をしてくれた者など、一定の貢献があった者は、謝辞に記載する。なお、謝辞では、「研究参加への協力」「助言」「データの収集」「研究補助」「原稿執筆の校正」など、具体的にどのような貢献をしたのか明示する。

5. 倫理的配慮

- 1) 人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。
- 2) 人および動物が対象である研究については、主となる研究者が所属する施設の倫理委員会の承認を得ていること。承認番号は文中に記載する。

6. 謝辞

当該研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合、また、著者以外で当該研究の遂行や論文作成に貢献した者（以下、貢献者）がいる場合は、「謝辞」の欄に各貢献者の貢献内容を記して謝意を述べる。

7. 利益相反*

著者全員について、投稿時から遡って過去 1 年以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との COI 状態を以下のように記載する。当該研究の遂行や論文作成において、A) 利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載し、B) 利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

*利益相反：外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」（平成20年3月31日科発 0331001号）。

8. 原稿の受付および採否

1) 原稿は、直接持参するか、または電子媒体での提出とする。直接持参し、紙媒体で提出する場合は、原本1部及び副本2部を添え、学術情報委員会に提出する。副本については、題目、著者名、所属、謝辞ほか著者を特定できるような事項を削除する。電子媒体で提出する場合は、原本1部と副本1部を、学術情報館（laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp）宛に送付する。副本の表紙及び本文に含まれる著者を特定できるような事項は削除するとともに、提出ファイルのプロパティに含まれる個人情報も、以下に示すような方法で削除しておく。

【プロパティの作成者情報を削除する方法】

該当ファイルを右クリックし「プロパティ」を選択→「詳細」の表示の左下にある「プロパティや個人情報を削除」をクリック→「可能なすべてのプロパティを削除してコピーを作成」を選択し→「OK」をクリック

※【Adobe無料版を使用の場合】

該当ファイルを「名前を付けて保存」→「ファイルの種類:PDF」を選択し「オプション」をクリック→ドキュメントのプロ

2) 紀要に投稿された論文等は、編集会議が依頼した査読者の審査結果に基づき、編集会議がその採否を決定する。

3) 査読結果によっては、編集会議は、投稿種別の変更を著者に求める場合がある。

4) 論文の受諾が決定した場合、投稿者は原稿の入力された記憶媒体を学術情報委員会に提出すること。

9. 著作権

紀要に掲載された論文等の著作権は、明石看護学術情報館に帰属する。ただし、投稿者自身は、自らの論文等の全部又は一部を複製、出版することができる。投稿者は、明石看護学術情報館を通じたインターネット上での公開を了承したものとする。なお公開におけるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスは、『表示-非営利-改変禁止』とする。

10. 著者校正

査読を経て、編集委員会で受理された投稿原稿については、印刷業者において掲載様式（2段組み）に変更される。変更された原稿を確認し、著者校正を1 回行う。ただし、校正の際の加筆は原則として認めない。

11. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料は、原則として無料とする。
- 2) 投稿者は、直接持参等できない場合において、その都度かかる郵送等の諸費用は自己負担とする。
- 3) 図表等、印刷上、特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。
- 4) 別刷は、最高50部まで無料配付する。それを超える場合については、超過分を投稿者の負担とする。

12. 原稿執筆の要領

- 1) 投稿しようとする者は、以下に示す①～④を個別のファイルとしてMS-Wordで作成し（図や表はMS-Excelでも可）、
「.docx」形式（バージョンWord 2007以降）で保存する。必ず投稿前にファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを
確認し、PDFファイルに変換し、上述の手順でプロパティの作成者情報を削除する。
 - ① [様式1]紀要投稿者情報
 - ② [様式2]紀要要旨（論文の題目・キーワード・和文要旨・英文要旨を含む）
 - ③ [様式3]投稿原稿本文（謝辞・利益相反・文献を含む）
 - ④ 図表（必要に応じて作成）：図表タイトルと説明文含む
- 2) 様式1には、①投稿区分・②題目（和文英文）・③著者名（和文英文）・④所属機関（和文英文）・⑤キーワード（和
文英文共にそれぞれ5語以内。重要な順に列挙し、英語表記の際は、単語の1文字目のアルファベットのみに大文字で記
載する。例：Nursing education, health promotion, students）・⑥ランニングタイトル（和文 20文字以内、英文 40文字以内）・
⑦代表者の連絡先住所を記載する。提出時の副本については③・④・⑦の情報を入れずに作成する。
- 3) 様式2には、①題目（和文英文）・②キーワード（和文英文）・③和文要旨（800字以内）と英文要旨（300words以内）
を入れる。英文抄録はブルーフリーディング（英語を母国語とする専門家の校正）を受けておく。
- 4) 様式3には、本文・謝辞・利益相反・文献を入力する。
 - ・原稿本文中の読点は「，」（全角コンマ）または「、」、句点には「。」または「.」（全角ピリオド）のいずれ
を用いても良いが、原稿内で用い方を統一すること。ただし本文中のCitations部分に限って、人名が英語表記の場合
のみ、半角コンマ＋半角スペースを用いる。また文中の括弧は全角、半角のいずれを用いてもよい。その他詳細は、
下記7) の【本文原稿】の欄を参照。
 - ・MS-Wordで作成し、「.docx」形式（バージョンWord 2007以降）で保存の後、PDFに変換し、ファイルのプロパテ
ィから作成者情報を削除しておく。
 - ・投稿原稿から本原稿の著者が特定できるような情報（例えば：受審した倫理審査委員会名称、データ収集先名称、
投稿者自身の先行研究を使用した場合の表記など）は、黒マーカーで隠した形で示すこと。（MS-Wordファイルのま
まの場合、黒マーカー部分は解除できてしまうが、それをPDFに変換して提出するため、査読者は見える形には戻せ
ない。）
 - ・原稿右欄外には図、表、写真の挿入希望位置を示す。

- 5) 様式2と3の原稿には、MS-Wordの行番号機能を用いて左端に行番号（連続番号）をつける。
- 6) 投稿原稿の本文（謝辞・利益相反・文献を含む）と図表の合計枚数は、原則として和文24枚、英文10枚以内とする。
図表（写真を含む）については、印刷面積により原稿枚数に換算する。既定の枚数を大きく超える場合は、提出前に学術情報館館長に申し出ること。
- 7) 原稿は、American Psychological Association（APA）スタイルに準じて本雑誌が設けた投稿様式で整えることとする。
原稿の作成にあたっては以下の点に注意する。

【本文原稿】

(1) 和文の投稿原稿はA4判横書きで、1行の文字数を30字、1ページの行数を28行（約900字）とし、英文投稿原稿も1行の文字数を30字、1ページの行数を28行とする。余白は、上20mm、下20mm、左右20mm、とししろ0mm、とししろの位置左とし、いずれの場合も両端揃えにする。原稿本文の書体については、ひらがな・カタカナ・漢字はMS明朝とし、半角英数文字はTimes New Romanを用いる。しかし、本文中に強調したい文字がある場合は、MSゴシック体あるいは太字を用いてもよい。投稿原稿は11ポイントで作成する。

(2) 原稿本文中の読点は「,」（全角コンマ）または「、」、句点には「。」または「.」（全角ピリオド）のいずれを用いても良いが、原稿内で用い方を統一すること。ただし本文中のCitations部分に限って、人名が英語表記の場合のみ、半角コンマ＋半角スペースを用いる。文中の括弧は全角、半角のいずれを用いてもよい。

(3) 外国語は原則、カタカナで表記し、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語などは、原則として活字体の原綴で書く。

(4) 西暦と和暦は混合させて用いない。ただし必要性がある場合は併記を可とする。

(5) 見出し番は、原則として下記の順でレベルを小さくする。また、見出しに番号をつける際には、自動段落番号の機能は使用せずにアラビア数字は半角で入力し、見出し番号の後のピリオド「.」やカッコ記号は全角とする。以下に示しているのは雑誌掲載時の文字サイズと書体であるが、投稿原稿はすべて11ポイントのMS明朝で作成すること。

- ・1番目（11ポイントMSゴシック）：全角ローマ数字＋全角ピリオド

例：I. II. III. IV. V. VI. VII. VIII. IX. 一段目の見出し

- ・2番目（11ポイントMSゴシック）：半角数字＋半角ピリオド＋半角スペース

例：1. 二段目の見出し

- ・3番目（11ポイントMS明朝＋Times New Roman）：半角数字の後ろに全角括弧閉じ

例：1) 三段目の見出し

- ・4番目（11ポイントMS明朝＋Times New Roman）：全角括弧の中に半角数字

例：(1) 四段目の見出し

- ・5番目（11ポイントMS明朝＋Times New Roman）：丸囲み数字＋半角スペース

例：① 五段目の見出し

(6) 本文中で用いる数字は、桁数によらず、すべて半角（Times New Roman）を用いる。四桁以上の数量を表す場合は、三桁ごとに半角コンマを入れる。

(7) 文中にローマ数字を用いる場合も、全角文字（全角MS明朝）を使用する。

【図表】

- (1) 図、表および写真は、図 1. 表 1. 写真 1. など通し番号（半角）＋全角ピリオドをつけ、1 ページに 1 点として作成し、字体は原則としてMS明朝やTimes New Romanを用いる。
- ① 掲載原稿の本文は2段組みになるため、初回に提出する原稿の段階において、片方のコラムに入れる場合の図表の幅は8 cm以下で作成し、両コラムにまたがった図表を入れる場合は幅が16.5cm以下になるように著者が作成する。
- ② 図表のタイトルは末尾にはピリオド「.」や句点「。」を付けず、表では表の上に、図では図の下に左揃えで10ポイントのMSゴシック体で記載する。
- ③ 図表中に日本語文字が多い場合はMS明朝を、半角英数字が多い場合はTimes New Romanを用いることが望ましい。
- ④ 図表の注釈は（MS明朝、9ポイント以上）、図表の下に簡潔に記す。説明文の終わりには句点を付ける。全体に関する補足説明は、図表の後に説明文を添える。特定部分に関する注には、表中の該当箇所注の符号（a, b, c の上付き文字）を付け、複数ある場合は、原則改行せずに続ける。読者が本文の説明を読まなくとも、その図あるいは表の内容を理解できるように工夫すること。なお、図と表で内容が重複しないように注意する。
- ⑤ 符号の表記：統計学上の「*」、「**」や「†」などの符号は、5%、1%、10%の統計上の有意水準を示すときに用い、数値の右肩に示し、図表の下部にその旨を示す。
- (2) 図について
 - ① 作図：作図は、縮尺を考慮して線の太さを決め、コントラストに留意する。なお、原則、色を使わずモノクロで仕上げる。座標軸や曲線、折れ線の太さは、論文を通じて一定にする。同一論文中に比較対照すべき複数の図があるときは、全部同じ目盛りを用いる。
 - ② 図中の文字：座標軸の説明とその単位は各軸の外側中央に示す。縦軸は、日本語の場合は縦書きとし、英語の場合は下から上に向かって横書きで書く。
- (3) 表については、MS-Excelによる作成を推奨する。
 - ① 原則、表の左の項目は左揃えとし、数値は右揃え、小数点の位置、小数点以下の桁数を揃える。
 - ② 数値の単位は、数字が縦に並ぶときはその数値に関する見出しの下、横に並ぶときは項目の右に書き入れる。表中の数字が理論的に必ず1 以下の場合（たとえば、相関係数）は、「0」を付けずに「.52」のように小数点以下のみを書く。
 - ③ 表中の線はできるだけ少なくし、適当なスペースをとる。

【註】

- (1) 本文中に註を挿入する場合は、挿入する箇所の右肩に片括弧を使用して挿入順に番号を付すこと。
- (2) 註の記載方法
 - ① 註は文末註とする。
 - ② このほか、原則として引用文献と同様の要領によるものとするが、各専門分野の慣用に従うこともできることとする。

【文献】

- (1) 本文中の文献表記方法（Citations）
 - ① 文中で文献を表示する場合は、著者名と出版年を用いる。
 - ② 文献が日本語であっても外国語であっても、文中の括弧は全て全角を用いる。著者名と出版年の間には、全角コンマ「，」を用いるが、著者名が英語表記の場合は、半角コンマ＋半角スペースを用いる。
 - ③ 翻訳本を文中で表記する場合は、原著者名と原著出版年および翻訳書籍出版年の両方を記載する。
例：Watson（1980/2017）によれば…である。

- ④ 複数の出典を1つの括弧で表記する場合は、第一著者の姓のアルファベット順に並べ、出典の間は全角セミコロンでつなぐ。

例：(明石ら, 2017a ; 明石ら, 2017b ; Hyogo, 2010 ; 神戸, 2011 ; Luminaire et al., 2018)

- ⑤ 複数著者の場合で初出であっても第一著者の姓と日本語論文では「ら」を、英語論文では「et al.」をつける表記でよい。第一著者のみの表記となるので「et al.」の前のコンマは不要である。出典元の区別がつかない場合は、出版年のあとに小文字のアルファベットを付し区別する。文献リストにも同様にアルファベットをつける。

例：高校生を対象とした研究(兵庫ら, 2018a)では、睡眠時間は…であることが明らかとなっている。また、兵庫ら(2018b)は…携帯電話の使用が…であると主張している。

日本人若年者は柑橘系の香りを好む(Akashi et al., 2018a)が、Akashi et al.がアメリカ人を対象とした研究(2018b)では柑橘系よりもフローラルな香りを好むという結果が得られている。

- ⑥ 直接引用を用いた場合は、引用した文章をカギ括弧で囲み、その後に括弧で著者、出版年、ページ番号も示す。

例：「患者には患者役割があり、それは疾病からの回復を左右する重要な因子である」(明石ら, 2017a, p.6) ことから…

(2) 文献リストの記載方法 (References)

- ① 引用文献(原文のままの引用した文献と、要約した形で引用した文献の両方を含む)は、第一著者の姓のアルファベット順に文献情報を列記する。
- ② 文献が日本語であっても外国語であっても、括弧、コンマ、ピリオド、アルファベット、数字は、すべて半角を用いる。左括弧(始め括弧)の前、右括弧(閉じ括弧)の後、コンマの後などには、半角スペースを入れる。ただし右括弧(閉じ括弧)のすぐ後にコンマやピリオドがくる場合は、括弧とコンマ(ピリオド)の間のスペースは不要。また、「巻(号)」の形で記載する場合は、巻と左括弧(始め括弧)の間のスペースは不要。
- ③ 1つの文献が2行以上にまたがる場合、2行目以降は全角2マス分下げる。
- ④ 文献雑誌名の省略は、原則として和文は医学中央雑誌、欧文はIndex Medicusの採用する略語を用いる。いずれにも該当しないものは、正式雑誌名を記載する。
- ⑤ 著者名の記載は以下のとおりとする。

[著者名：日本語文献の場合]

- a) 著者名は、姓、名の順に続けて記載する。姓と名の間は空けない。例：明石華怜

- b) 著者3名までは列挙し、4名以降は「ほか」で略す。著者名を半角コンマと半角スペースでつなぐ。

例：明石花蓮, 兵庫湊, 推名海 (2018a). 明石花蓮, 推名海 (2018b).

明石花蓮, 明石華怜, 神戸留美ほか (2018c).

- c) 政府・官公庁・研究機関など団体名義の著作物は正式名称を略さずに書き、個人著者名の場合と同様にアルファベット順に並べる。

例：厚生労働省

[著者名：海外文献の場合]

- a) 日本語以外の名前であっても、姓→名の順で表記し、ファミリー・ネーム(スペルアウト) + 半角コンマ + 半角スペース + ファースト・ネーム(イニシャル) + 半角ピリオド + 半角スペース + ミドル・ネーム(イニシャル) + 半角ピリオドを付ける。ただし、ミドル・ネームは示さなくとも可とする。

- b) 英語に翻訳された書籍の翻訳者を記載する場合の英語名の表記の順は上記とは異なり、名(イニシャル) + 半角ピリオド + 半角スペース + 姓(スペルアウト) + 半角コンマ + 半角スペース + “Trans.”の順となる。

- c) 著者3名までは列挙し、4名以降は「et al.」で略す。著者名は、半角コンマと半角スペースでつなぎ、&は使用しない。

例：Donald John Trump & Donald John Trump Jr.

⇒ Trump, D. J., Trump Jr., D. J. (2018).

例：Donald John Trump, Jared Corey Kushner, Ivanka Marie Trump, Melania Trump,,

⇒ Trump, D., Kushner, J., Trump, I., et al. (2018).

- d) 同姓かつ名のイニシャルも同じ著者があり、出典の区別がつかないときには、名も略さずに書く。

例：Trump, Donald (2017).

Trump, Denney (2017).

- ⑤ 出版年：同一著者が同じ年に出版している文献があり、著者名と出版年のみ記載が同じになる場合は、出版年の後にアルファベットをつけて区別する。

例：明石華怜, 神戸瑠美奈 (2017a) 明石華怜, 神戸瑠美奈 (2017b)

- ⑥ 雑誌名・論文名等：原則として正式名称を省略せず記載する。論文の題目は副題も含めて略さずに書く。日本語文献では、副題の前に全角ダッシュ (―) を使用し、ダッシュの前後には半角スペースを入れる。外国語文献では、原則として題目と副題の最初の語の頭文字、固有名詞のみ大文字とし、副題は半角コロン (:) + 半角スペースのあとに続ける。

- ⑦ 出典の種類によって記載が必要な書誌情報の項目は異なる。

雑誌掲載論文

- ・「著者名 (出版年). 論文の題目. 掲載雑誌名, 号もしくは巻(号), 開始ページ-終了ページ。」の順に記載し、ページ間の記号には半角ダッシュ (-) を用い、雑誌や書籍名はイタリックにしなくともよい。巻のみ記す場合は通し番号を用い、巻と号を示す場合はその号のページ番号を記載する。

例：会田博, 松木健, 北川望ほか (2010). 慢性腎疾患をもつ子どもと健康児の QOL の比較. 心と体, 2, 67-74.

例：Matsunaga, R., Yokosawa, K., Abe, J. (2014). Functional modulations in brain activity for the first and second music: A comparison of high- and low- proficiency bimusicals. *Neuropsychologia*, 54, 1-10.

書籍

- ・書籍全体を用いた場合、「著者名 (出版年). 書籍名 (初版以外は版数). 発行地: 出版社」の順で記載する。

例：American Psychiatric Association (2013). *Diagnostic and statistical manual of mental disorders* (5th ed.). Washington, DC: American Psychological Association.

宮埜寿夫 (1993). *心理学のためのデータ解析法*. 東京都: 培風館.

- ・編集された書籍を用いた場合は、「編集者名 (編)(出版年). 書籍名 (初版以外は版数). 発行地: 出版社」の順で記載する。英語書籍については編集者が1名の場合 (Ed.), 複数の場合には (Eds.) を用いる。

例：川原隆造, 前田久雄, 吉岡伸一 (編) (2000). *現代病としての睡眠障害*. 東京都: 日本評論社.

Redeker, N., Mcenany, G. (Eds.) (2011). *Sleep disorders and sleep promotion on nursing practice*. NY: Springer Publishing Company.

- ・書籍の特定の章または項を用いた場合、日本語論文では、「章または項の著者名 (出版年). 章または項の題目. 編集者名 (編), 書籍名 (初版以外は版数) (その章のpp. 開始ページ数-終了ページ数). 発行地: 出版社名」の順に記載する。ページ数が単数の場合は「p.」, 複数の場合は「pp.」と表記し「p.」や「pp.」の後ろには半角スペースを入れる。また、ページ間の記号には半角ダッシュ (-) を用いる。なお、副題のダッシュ (―) には全角を使用し、その前後に半角スペースを入れる。英語論文では、編集者は「In 編集者の名のイニシャル. 性」で示し、副題は

コロンでつなげる。

例：坂本真士 (2013). 論文投稿に向けて. 坂本真士, 大平英樹 (編), 心理学論文道場 ― 基礎から始める英語論文執筆 (pp. 16-50). 京都府: 世界思想社

例：Sato, T. (1998). Dmax: Relations to low- and high-level motion processes. In T. Watanabe (Ed.), High-level motion processing (pp. 115-152). Cambridge, MA: MIT Press.

翻訳書

- ・日本語に翻訳された書籍は、「原著者名 (原書出版年). 原書名 (初版以外は版数). 原書発行地: 原書出版社. 翻訳者名 (監訳または訳) (翻訳書出版年). 翻訳書名 (初版以外は版数). 翻訳書発行地: 翻訳書出版社」の順に記載する。
- ・日本語に翻訳された書籍の特定の章または項を用いた場合は、「原書の章または項の原著者名 (原書出版年). 原書名 (初版以外は版数). 原書発行地: 原書出版社. 章または項の翻訳者名 (監訳または訳) (翻訳書の出版年). 章または項の題目, 翻訳書の監訳者名 (監訳). 翻訳書名 (初版以外は版数) (その章または項のpp. 開始ページ-終了ページ). 翻訳書発行地: 翻訳書出版社」の順に表記する。ただし、翻訳書の特定の章または項の担当者が書籍に明示されていない場合は、章または項の題目の後の翻訳者名は記載しなくともよい。

例：American Psychological Association (2010). Publication Manual of the American Psychological Association (6th ed.). Washington, DC: American Psychological Association. 前田樹海, 江藤博之, 田中建彦 (訳) (2011). 第7章 引用文献の表記例. APA論文作成マニュアル (第2版) (pp. 209-250). 東京都: 医学書院

オンライン版で、DOI のある場合

- ・DOIがある論文の場合には、「著者名 (年号). 論文タイトル. 収載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. doi: 番号」の順に記載する。

例：Bouchoucha, M., Mary, F., Bon, C., et al. (2018). Sleep quality and functional gastrointestinal disorders: A psychological issue. Journal of Digestive Diseases. doi: 10.1111/1751-2980.12577

オンライン版で、DOI のない場合

- ・デジタルオブジェクト識別子 (doi) がない論文の場合は、「著者名 (年号). 論文タイトル. 収載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. URL」の順に記載する。

例：太尾元美, 坂下玲子 (2013). 高齢者の食形態を普通食へと回復させるためのケアの方略の抽出. 兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要, 20, 41-53. <http://lib.laic.u-hyogo.ac.jp/laic/5/kiyo20/20-04.pdf>

Prather, A., Janicki-Deverts, D., Hall, M. H., et al. (2015). Behaviorally assessed sleep and susceptibility to the common cold. Sleep, 38, 1353-1359. doi:10.5665/sleep.4968

ウェブサイトなど、逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合

- ・ウェブサイト上の資料の場合は、「著者名 (公開日). 資料の題目. ウェブサイト名. URL」を記載する。公開日については、そのページの公開された時期が月日まで示されている場合は、日まで記載する。また、本文中においても公開月日までを記載する。
- ・閲覧日の記載は不要とする。

例：American Psychological Association (2018). What is APA Style? American Psychological Association.

<http://www.apastyle.org/learn/faqs/what-is-apa-style.aspx>

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室 (2017年12月15日). 平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果の概要. <http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000188136.pdf>

学位論文など

- ・「著者名(授与年) 題目(未発表の●●論文). 大学名, 所在地」を記載する。

例: 推名花蓮 (2017). クローンによるヒトの複製に関する世論 (未発表の修士論文). 平成看護大学, 兵庫県.

- ・英語で書かれた学位論文の場合には, 「著者名(授与年) 題目(Unpublished master's thesis, doctoral dissertation.). 大学名: 所在地」を記載する。

例: Li, Q. (2011). Feature-based versus space-based access to internal representations in visual working memory (Unpublished master's thesis). Kyoto University: Kyoto.

附則

この要綱は, 平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は, 平成26年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は, 平成27年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は, 平成29年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は, 平成30年3月1日から施行する。

附 則

この要綱は, 令和元年10月2日から施行する。

附 則

この要綱は, 令和3年6月2日から施行する。